



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実

No20

活動報告

令和2年4月20日発行

島崎 実 事務所
〒198-0063
青梅市梅郷6-1511
TEL 0428-76-0358
E-Mail info@minoru-kai.com

◎新型コロナウイルスの感染拡大に、一人一人の自覚と皆の協力で打ち勝ちましょう！！

◎世界連邦運動協会青梅支部が60周年を迎え記念行事として、梅の公園での植樹式を実施しました。
・世界連邦運動とは、国家間の紛争や環境問題など一国では解決できない世界規模の課題を解決するため、国家を超えた権威と権限を有する国際機構による「一つの世界」として、国境を越えた地球レベルの諸問題への対応、解決をしようとする運動です。青梅市では昭和33年4月、市議会議員全員の賛成により、東日本で最初の「世界連邦平和都市宣言」を行い、同年10月に世界連邦建設同盟青梅支部（現、協会青梅支部）が創立され、60周年を迎えました。

・60周年記念事業として、2月1日、梅の公園の入口に紅白2本の成木を植樹しました。



紅白2本の梅樹



記念プレート



浜中市長と青木会長の土入れ



私も行いました

◎引き続き、台風19号被害からの復旧が進んでいます。



柚木町1丁目愛宕神社脇の沢



梅郷6丁目明王沢



梅の公園



和田町2丁目

◎梅の公園への観梅通りの写真です。地主さんのご協力により、見通しが良くなりました。



改修前



改修後



改修前



改修後

「2月 定例 議会 報告」

1、2月定例議会（3月議会）は新型コロナウイルス感染拡大の影響で異例の日程となりました。2月19日の市長市政方針演説、2月27・28日、3月2日の常任委員会、3月3日の補正予算審査・全員協議会を終了後、3日から13日を休会とし、16日に再開しました。当初3日間予定の「令和2年度青梅市一般会計予算」審査が、結果として17・18日の2日間の審査となりました。23日～25日に一般質問を行い、26日に予算案他、市長提出議案を可決し終了しました。

2、「令和2年度、青梅市一般会計予算」について・・・引き続き大変厳しい財政状況が続きます。
(1) 予算総額は、令和元年度当初予算比9億円増の513億円（+1.8%）となります。なお、モーターボートの収益から、一般会計へ9億円余の繰入れを見込みます。
(2) 歳入においては、都支出金、繰入金、諸収入等が増額となりますが、市税は法人市民税の大幅減もあり、前年比1.9%減の196億円余と200億円を切ります。
(3) 歳出においては、青梅IC北側に於ける物流拠点整備等に向けた長期計画事業の取り組み。一方、福祉関連の民生費が250億円余と全体の48.9%を占め、教育費・衛生費は増加します。

3、「令和2年度予算で、私の提案が新たに3件実現します。」

(1) 病児保育事業所の開設・・・病児保育所とは、風邪等子どもが病気の際に預かる保育所です。羽村市・福生市には、各々1ヶ所ありますが、市内には無いことから、平成29年2月議会の一般質問（議会報告No8）で開設を求め、その後も質問を行ってきました。今回、新町の小規模保育所に設置の方向で、開設費用等16百万円余を計上、医師と連携し、看護師が常駐して8月開所予定です。

- (2) 特設公衆電話の設置・・・特設公衆電話とは、災害時に避難施設等で早期通信手段を確保するもので、通常の電話が使えない場合でも利用でき、事前に配備しておくものです。平成31年3月議会の一般質問(議会報告No16)で配備を求めました。令和2年度予算で、設置工事費と電話機購入代計459万円余の予算を計上し、市内中学校10校に計50台を配備します。今後3年間で小・中全校に配備する予定です。
- (3) 外国人児童・生徒への授業通訳・・・市内でも外国人居住者が増加する中、令和元年6月議会の一般質問(議会報告No17)で、日本語の習熟が未熟な子どもへの配慮を求めました。予算額は97万円余と少額ですが、日本語の通訳が付き添い、子供達の学習を支援します。

4、「全員協議会」

- (1) 第2期「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を含む、下記8項目が提出されました。
- (2) 令和2年度組織改正について・・・総務部内に施設担当部長を新たに配置します。また、教育部文化課に吉川英治記念館担当主査が配置されます。
- (3) 令和2年度国民健康保険税の減額判定所得等の見直しおよび後期高齢者医療保険料の改定等について
- (4) 令和2年度の税制改正の主な内容について
- (5) 多摩地域ごみ処理広域支援体制の見直しについて・・・従来のブロック制を見直し多摩を一つとした支援体制に改めます。
- (6) 「青梅市公共下水道事業経営戦略」および「青梅市下水道ストックマネジメント計画」の策定について
- (7) 新型コロナウイルスに対する市の対応について・・・各部ごとの対応策について報告がありました。
- (8) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う取組予定について

5、「一般質問」

(私の質問)	(市長・一部教育長、答弁)
「青梅市戦没者追悼式および市内各地区の戦没者慰霊祭について」	
(1) 平成29年9月議会でも取り上げましたが、改めて市戦没者追悼式に対する市長の思いを伺います。	(1) 戦没者を偲び、ご遺族の皆様に哀悼の意を表するとともに、平和の尊さを改めて深く心に刻み、毎年式典に臨んでいます。
(2) 参加者が減少している印象がありますが、参加者及び一般の方の参加内訳、また遺族会の現状をお示ください。	(2) 令和元年度の参加者は179人で、一般参加者は7人でした。遺族会会員は令和元年度561人で、この5年間で140人の減少となっております。
(3) 前回の質問でも、若い世代の参加が課題と質問しましたが、この間、若い世代に向けて取ってきた具体策は何かお示ください。	(3) 「広報おうめ」、HPへの掲載のほか、平成29年度からは、若い世代向けに「公式ツイッター」による情報発信を行っています。さらに工夫をして参ります。
(4) 戦争犠牲者に思いをはせ、恒久平和を誓う戦没者追悼式、戦争犠牲者を祀る施設である忠霊塔の存在・歴史を教育現場でどのように取り上げ・教えていくのか、教育長の答弁を求めます。	(4) 戦没者追悼式を教材として扱う場合、歴史的分野、公民的分野の学習で、日本の平和主義のことを学ぶきっかけとして、戦没者追悼式を取り上げることが考えられます。(教育長)
(5) 戦没者追悼式に関しては、遺族会との連携を深め、一般の方々の関心を高め、式を継続・充実することが重要です。今後の推進方針についてお答えください。	(5) 若い世代を含め、一般の方が自ら進んで参列していただけるよう遺族会と更なる協議を重ね、戦没者追悼式の充実に努めてまいります。
「市職員提案制度について」	
(1) 市職員提案制度はいつから、どういう背景の下、始めたのか？この制度の目指すところ、ねらいは何かお示ください。	(1) この制度は職員の創意工夫を奨励し、積極的な勤労意欲の高揚、業務改善・能率向上を目的として、昭和62年度から実施しております。
(2) 提案については、どのように勧奨しているのか？提案の内取り上げられ、市政に反映実行された具体例には、どのようなものがあるのかお答えください。	(2) 幹部会の席上市長自ら奨励を指示し、結果として、若手の提案が多くなりました。奥多摩溪谷駅伝大会の提案が「自治会の部」等の新設に繋がりました。
(3) 一般提案の他、課題提案もありますが、課題提案の項目決定は、どのような過程を経て決定されるのか伺います。	(3) 年3回の締め切り期日を設け、提案推進委員会で審査を行います。審査は、市民サービス、実現性、能率性、着想等を評価し、市長が最終決定致します。
(4) 採用提案の職員へは、人事評価への反映の仕組みを検討して来たとのことですが、具体的にどう反映して来たか伺います。	(4) 提案採用者に対しては、幹部職員の前で褒賞式を行い、平成27年度からは、人事評価制度における加点制度を設け、昇給や勤勉手当に反映させております。
(5) 吉川英治記念館の運営について、本年度と同様、令和2年度も課題提案として頂きたい。提案制度を一手段として、記念館が十分機能するよう、役所を挙げての叢智の結集が求められますが見解を伺います。	(5) 職員提案のテーマとして、「吉川英治記念館の運営について」を引き続き取り上げたい。記念館については、市内外に連携を広く呼び掛け、本市を代表する魅力ある拠点へと成長させてまいります。